

## 20. 東京大学地震研究所（共同利用・共同研究拠点）の地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究実施課題一覧

年度	研究課題名	研究代表者	共同研究者数
平成 21	地震火山現象に関する統合データベースの構築	大見士朗 京大防災研	3名
平成 21 ～23	3次元比抵抗構造解析による東北日本前弧ひずみ集中帯の地殻内流体の不均質分布の解明	小川康雄 東工大火山流体	4名
平成 21 ～23	岩木山の噴火履歴とマグマ発達過程の解明に関する研究	伴 雅雄 山形大理	3名
平成 21 ～23	衛星による地震関連電離圏擾乱の検証とメカニズムの解明	鴨川 仁 学芸大物理	2名
平成 21 ～23	花崗岩のトランジェントな载荷・除荷にともなって生成される電場・磁場の観測	加納靖之 京大防災研	2名
平成 21 ～23	活動火口に形成された強酸性火口湖における水温モニタリングシステムの開発(3)	寺田暁彦 東工大火山流体	3名
平成 21 ～23	地震発生先行過程に伴うラドン放出・電磁放射と地殻変形	長濱裕幸 東北大	4名
平成 21 ～23	透過弾性波を用いた岩石の破壊過程のイメージング	川方裕則 立命館大	2名
平成 21 ～23	マイクロアスペリティーでの力学現象の解明	増田俊明 静岡大理	2名
平成 21 ～23	雌阿寒岳過去 1000 年間の噴火履歴と噴火推移予測	和田恵治 北海道教育大	3名
平成 22	地震に関連する大気擾乱の検証と発生メカニズムの検討	山本 勲 岡山理科大	3名
平成 22 ～24	火山水蒸気爆発機構解明の新展開	植木貞人 東北地震火山	2名
平成 22 ～23	臨界現象の概念に基づいた大地震前における臨界点の検知	上田誠也 地震研（名誉）	2名
平成 23 ～24	活動的火山における火口近傍観測用自走式センサー「ほむら」の開発	金子克哉 京大人間環境	3名
平成 24 ～25	那須岳のマグマ進化過程の解明に関する研究	伴 雅雄 山形大理	3名
平成 24 ～25	マイクロアスペリティーでの鉱物溶融現象の解明	増田俊明 静岡大理	2名
平成 24	ライダー技術の火山噴気/噴煙観測への応用	寺田暁彦 東工大火山流体	1名
平成 25 ～27	十勝岳と雌阿寒岳における噴火推移の高分解能な解析とマグマ供給系	和田恵治 北海道教育大	3名
平成 25	模擬断層ガウジの動的破壊過程に関する実験的研究	平内健一 静岡大理	3名
平成 25	草津白根火山・本白根火砕丘における過去 3000 年間の活動履歴解明	吉本充宏 北海道大理	6名
平成 25	大規模水蒸気爆発の前駆現象の研究	中道治久 名古屋大環境	2名
平成 26	伊豆大島テフラの自然残留磁化の基礎研究	望月伸竜 熊本大先端機構	3名
平成 26 ～27	火山ガス観測による箱根山の熱水系構造解明と群発地震発生予測	大場 武 東海大理	2名

年度	研究課題名	研究代表者	共同研究者数
平成 26	那須岳、最新活動期の噴火推移詳細解析に関する研究	伴 雅雄 山形大理	3 名
平成 26	草津白根火山の過去 5000 年間の活動履歴の解明	吉本充宏 山梨県富士山科学研	5 名
平成 26	史料にもとづく北海道渡島大島火山寛保噴火による山体崩壊とマグマ活動に関する研究	津久井雅志 千葉大理	1 名
平成 26 ～27	東北地方太平洋沿岸地域における歴史災害資料の収集と分析	蛭名裕一 東北大災害科学 国際研	5 名
平成 26	東アジア地震史料の研究—そのデータベース化と災異思想の研究—	小嶋茂稔 東京学芸大教育	9 名
平成 26	模擬断層ガウジの動的破壊過程に対する法線応力依存性	平内健一 静岡大理	3 名
平成 26 ～27	公的研究機関以外が所有する計測データを用いた地下水の地震先行現象調査	織原義明 東京学芸大教育	1 名
平成 26 ～27	臨界現象の物理を背景としたナチュラルタイム概念による地震活動度解析	上田誠也 東大地震研	3 名
平成 27	北海道太平洋岸の潟湖周辺の多点掘削に基づく巨大津波による砂州形成過程の理解	知北和久 北海道大理	2 名
平成 27	蔵王山、五色岳活動期のマグマ進化過程解明に関する研究	伴 雅雄 山形大理	1 名
平成 27	サンゴからなる津波石の骨格調査に基づく南西諸島周辺の津波履歴の解明	渡邊 剛 北海道大理	2 名
平成 27	短波長不均質構造推定による地震動即時予測高度化へ向けた試験的研究	志藤あずさ 九大理	4 名
平成 27	古地震のウェブを目指して	林 晋 京都大文	4 名